

昭和四年三月第六回修了者

(六名) (ABC順)

野村一義 (青森) 大神正徳 (滋賀)

山下利三郎 (廣島)

落合宜之 (新潟) 高橋吉定 (宮城)

横川豊太郎 (岡山)

昭和五年三月第七回修了者

(五名) (ABC順)

秦一郎 (東京) 中井駿二 (大阪)

渡邊精二 (新潟)

小松芳喬 (東京) 藁谷政雄 (福島)

(三名) (ABC順)

千葉俊郎 (東京) 神谷金剛 (静岡)

香村文雄 (東京)

西語學科

大正三年三月第一回修了生

(五人) (成績順)

大須勝 (東京) 徳島寛一 (徳島)

岩淵繁樹 (東京)

中西毅 (北海道) 犬伏康平 (徳島)

(九人) (成績順)

大正四年三月第二回修了生

(九人) (成績順)

山田鐵彦 (大阪) 菊地治三郎 (愛媛)

本多次郎 (三重)

加畑伊輔 (京都) 門林安郎 (大阪)

鈴木享三 (三重)

久保田昇 (長崎) 服部定雄 (三重)

野田茂一郎 (熊本)

大正五年三月第三回修了生

(九人) (成績順)

十川成一 (山口) 藤畑正己 (東京)

黒石元次 (山口)

濱崎龜太郎 (東京) 渡部登 (島根)

姫井昇一 (岡山)

松平繁 (東京) 有地了三 (廣島)

中島直己 (東京)

葡語部

大正十年三月第一回修了者

(六名) (ABC順)

阿部彌門 (山形) 笠井梧樓 (山梨)

中川勇藏 (山形)

林田徳彌太 (長崎) 小松操 (山形)

大村實 (熊本)

大正十四年三月第二回修了者

(六名) (ABC順)

安立綱光 (東京) 中澤二郎 (東京)

高木清一 (東京)

石津雄彦 (廣島) 佐久間庸 (東京)

瀧尾増夫 (東京)

大正十五年三月第三回修了者

(三名) (ABC順)

石本久治 (北海道) 小坂俱成 (山口)

内湯政二 (東京)

昭和二年三月第四回修了者

(四名) (ABC順)

十川計一 (香川) 谷本榮 (香川)

照井次郎 (岩手)

昭和三年三月第五回修了者

(九名) (ABC順)

淺岡芳雄 (東京) 大野保之 (埼玉)

鶴海太郎 (岡山)

村山正道 (岐阜) 高岡宗一 (熊本)

山田清吉 (千葉)

中尾嘉吉 (島根) 龍野源徳 (鹿児島)

吉田小五郎 (新潟)

昭和四年三月第六回修了者

(四名) (ABC順)

久我義明 (千葉) 上野泰彦 (東京)

松尾茂雄 (長崎)

竹澤平太 (千葉)

昭和五年三月第七回修了者

(十名) (ABC順)

- 阿部高惠 (岩手) 小原重未 (千葉)
- 岩崎克己 (愛知) 名倉務 (京都)
- 河内誠一郎 (新潟) 西本伍一 (山口)

- 塗谷次郎 (石川)
- 諏訪昇 (静岡)
- 植草定太郎 (東京)

山口慎三 (千葉)

支那語學科

大正三年三月第一回修了生

(九人) (成績順)

- 戸川健三 (大阪) 山口勝也 (神奈川)
- 伊藤時雄 (長野) 塚越島十郎 (群馬)
- 荒井敏郎 (徳島) 渡邊紀平 (新潟)
- 大正四年三月第二回修了生
- 渡邊哲 (茨城) 河相街 (朝鮮)
- 小玉英一 (愛知) 尹亮求 (朝鮮)
- 豊島五六 (東京) 木下淺吉 (佐賀)
- 大正五年三月第三回修了生
- 米村滿男 (熊本) 森忠雄 (愛知)
- 衛藤忠雄 (大分) 廣瀬主殿 (山梨)
- 雨宮正雄 (愛知) 犬丸鐵太郎 (東京)

- 大久保喜重治 (岩手)
- 千坂保臣 (東京)
- 岡野庄藏 (東京)
- (八人) (成績順)
- 土井豊 (愛媛)
- 下川末市 (長崎)
- (十三人) (成績順)
- 水坂貞雄 (愛知)
- 森脇忠敏 (埼玉)
- 長島五三郎 (兵庫)

- 恒川泰次 (奈良)
- 多田慶明 (愛媛)
- 木原文彌 (滋賀)

鈴木晟太郎 (栃木)

大正六年三月第四回修了生

(十四人) (成績順)

- 田邊桑三郎 (鳥根) 菱沼文二 (宮城)
- 柏木 菜 (兵庫) 今關達也 (千葉)
- 寺村豊次郎 (滋賀) 板倉與三郎 (熊本)
- 徳久虎之助 (佐賀) 平井清 (宮城)

- 村江汎之 (鳥取)
- 竹中京太郎 (東京)
- 青木金之助 (東京)
- 大倉明三郎 (東京)
- (九人) (成績順)

- 平野賢吉 (千葉)
- 川尻忠 (秋田)

大正七年三月第五回修了生

(九人) (成績順)

- 池田佐久馬 (長崎) 清島重徳 (東京)
- 中川敬治 (京都) 石山陽三 (埼玉)
- 松山悦次郎 (愛知) 伊部唯一 (福井)

- 成島武八 (茨城)
- 大和田藤馬 (福島)
- 柳澤五郎 (長野)

蒙古語部

大正十一年三月第一回修了者

(二名)

渡邊卯一郎 (新潟)

大正十三年三月第二回修了者

(五名) (ABC順)

- 久保寺逸彦 (山梨) 高綱信吉 (新潟)
- 高師泰治 (千葉) 寺正利光 (東京)

- 内田翠 (愛知)

大正十四年三月第三回修了者

林文雄 (長崎) — 柿原熊一 (愛媛)

(四名) (ABC順)

長澤矩規也 (東京)

田端芳太郎 (東京)

昭和二年三月第四回修了者

岸木農武郎 (岡山) — 森知虎 (愛媛)

(三名) (ABC順)

西川勇 (福井)

馬來語部

大正十年三月第一回修了者

西村清保 (富山) — 沼邊武 (東京)

(四名) (ABC順)

小川正次 (大阪)

杉村飛車太郎 (群馬)

大正十一年三月第二回修了者

府川辰造 (神奈川) — 鹽川峻一 (長野)

(五名) (ABC順)

牛島國光 (東京)

沼邊武 (東京) — 武田幸太郎 (岡山)

(五名) (ABC順)

武田豊穰 (廣島)

大正十二年三月第三回修了者

阿部勇 (山形) — 青木元次郎 (滋賀)

(四名) (ABC順)

田代己代次 (東京)

大正十三年三月第四回修了者

蘆澤輝男 (岡山)

(四名) (ABC順)

三芳美之藏 (富山) — 和田福三郎 (栃木)

渡邊一義 (香川)

安村隆興 (東京)

大正十四年三月第五回修了者

黒澤徳明 (茨城) — 大塚正眞 (福岡)

(三名) (ABC順)

吉田輝 (大阪)

昭和三年三月第六回修了者

甲賀朝司 (静岡) — 中塚繁太郎 (京都)

(三名) (ABC順)

齋藤一三 (東京)

昭和五年三月第七回修了者

李益堅 (中國)

(一名)

蘭語

昭和二年三月第一回修了者

旗手國廣 (東京) — 岩生成一 (福岡)

(五名) (ABC順)

志村春久 (山梨)

昭和三年三月第二回修了者

堀七郎 (鳥根) — 川崎秀一 (廣島)

(三名) (ABC順)

幸田友成 (東京)

昭和四年三月第三回修了者

關谷昌四郎 (栃木) — 鈴木章夫 (千葉)

(七名) (ABC順)

谷川福次郎 (熊本)

安藤俊郎 (愛媛) — 品田仁之松 (神奈川)

都築四十男 (東京)

伊藤富雄 (山形) — 島居御嶽 (東京)

村井寛 (東京)

昭和六年三月第四回修了者

北郷資利 (鹿兒島) — 岩崎克己 (愛知)

(三名) (ABC順)

熊井直之 (群馬)

ヒンドスタン語部

大正十一年三月第一回修了者

(二名)

間野一喜 (石川)

大正十二年三月第二回修了者

(三名) (ABC順)

大西英一 (兵庫) 尾崎貫一郎 (埼玉)

宰務五一郎 (東京)

朝鮮語學科

大正三年三月第一回修了生

(五人) (成績順)

副島壽人 (長崎) 鬼塚隆藏 (東京)

小瀬村龜三 (神奈川)

高濱由己 (大分) 山本元次郎 (千葉)

(二名) (ABC順)

大正十一年三月第二回修了者

平井良雄 (香川) 中村又一 (佐賀)

(一名)

大正十二年三月第三回修了者

(一名)

横江清兵衛 (滋賀)

明治四十年三月速成科修了生

明治三十九年三月設置同四十年三月廢止
修業年限一ヶ年授業
時數一週二十二時間

露語學科

(十九人)

(いろは順)

渡邊源四郎 (石川) 戸川末三 (東京)

宗文江 (東京)

奥山光茂 (鹿兒島)

程田藤吉 (東京) 竹室卯造 (兵庫)

根岸伊七 (群馬)

押見寅之助 (山口)

山口甲子男 (静岡)

高範中 (清國)

湯淺誠作 (群馬)

鹽田彌惣八 (滋賀)

保田宗治郎 (神奈川)

厚美清太郎 (徳島)

皆川大郎 (山口)

茂木徳香 (長野)

福井敬藏 (東京)

秋草愛一 (群馬)

三浦安兵衛 (愛知)

清語學科

(二十九人)

(いろは順)

著本正木 (長野)

辰川質 (愛媛)

松田智禮 (愛媛)

岸田國太郎 (京都)

林善一 (東京)

竹中信以 (東京)

松浦捨吉 (和歌山)

澁谷兵八 (岐阜)

西山章二 (福島)

塚原守重 (山梨)

藤岡藤市 (徳島)

清水清次 (山形)

細川久 (岩手)

長竹元吉 (千葉)

舟津勝三 (東京)

鈴木一良 (東京)

土井芳輔 (山口)

中村春之助 (神奈川)

江口是三郎 (佐賀)

鈴木榮之丞 (長野)

川谷宮太郎 (高知)

中村憲延 (埼玉)

新井慶太郎 (埼玉)

立花慶應 (福岡)

矢野繁之丞 (岩手)

秋元雄治 (群馬)

高山好 (新潟)

松岡龍吉 (岐阜)

酒井恒記 (愛媛)

韓語學科

(十四人)

(いろは順)

池田傳次 (秋田)

野澤寛一 (新潟)

松岡末廣 (愛媛)

島谷直方 (富山)

石川竹三郎 (埼玉)

興津健夫 (東京)

足助嘉一郎 (長野)

島谷直方 (富山)

田中徳太郎 (青森)

黒羽資明 (茨城)

北山清 (茨城)

島谷直方 (富山)

中澤鐵太郎 (東京)

山中忠太 (三重)

宮崎侃 (東京)

島谷直方 (富山)

東洋語速成科修業生
馬來語學科

明治四十二年四月設置同四十四年三月廢止
修業年限一ケ年
授業時數一週二十二時間

明治四十二年三月第一回修業生

(十六人) (いろは順)

飯塚重一 (埼玉)
林 虎太 (香川)
小野良吉 (大分)
萩島良三 (埼玉)

加藤治躬 (静岡)
笠村思敏 (栃木)
田中興平 (長野)
中村庄太郎 (福井)

中島懋一 (東京)
宇野耕雲 (東京)
野口郁彦 (北海道)
久保田善一郎 (茨城)

松井秀三 (鳥取)
松信春之助 (茨城)
近藤正二 (東京)
寺尾熊次 (北海道)

*岩室晋次郎 (廣島)

秋保俊治 (宮城)

(二人) (いろは順)

明治四十四年三月第三回修業生

(四人) (成績順)

森岡三郎 (東京)

板垣龍三 (山形)

木全省吾 (愛知)

山道儀三郎 (群馬)

ヒンドスタニー語學科

明治四十二年三月第一回修業生

(十二人) (いろは順)

稻見憲吉 (栃木)

小栗 明 (岐阜)

金村貞太郎 (東京)

廣屋龍彌 (富山)

武岡久壽 (栃木)
土屋政次郎 (岡山)

上田孝三 (三重)
鶴岡仙之助 (岐阜)

大澤友吉 (千葉)
山室康吉 (宮崎)

赤羽宇重 (長野)
阿諾得壽 (京都)

明治四十三年三月第二回修業生

(二人) (いろは順)

石山善壽 (栃木)

野口一三郎 (新潟)

(五人) (成績順)

明治四十四年三月第三回修業生

横山金三郎 (滋賀)

豊田忠太郎 (石川)
齋 盤 (静岡)

神崎友吉 (栃木)
江尻正一 (茨城)

タミル語學科

明治四十二年三月第一回修業生

(四人) (いろは順)

田中俊三 (和歌山)

柳田光之助 (東京)

秋元善藏 (青森)

三宅 正 (愛媛)

明治四十三年三月第二回修業生

(二人) (いろは順)

和田進三 (兵庫)

温 味 盤 (静岡)

蒙古語學科

明治四十二年第一回修業生

(六人) (いろは順)

石山 嗣治 (新潟)

西田 與左衛門 (東京)

吉田 順三 (東京)

中島友次郎 (群馬)

藤森 勇 (長野) 三俣 二郎 (群馬)

明治四十三年三月第二回修業生 (三人) (いろは順)

高橋 安親 (新潟) 高田 治作 (北海道) 猪狩 重光 (北海道)

明治四十四年三月第三回修業生 (七人) (成績順)

神谷 衡平 (東京) 宮島 鹿雄 (佐賀) 淺野 隼 (東京) 片野 孝三 (福島)

笠井 清三郎 (三重) 大地 亮平 (千葉) 藤川 文近 (長崎)

東京音樂學校委託伊語特別科修了生

修業年限二ケ年 授業時間一週六時間

大正三年三月修業生

松島 錦 (東京)

東京府委託支那語特別科修業生

修業年限二ケ年 授業時數一週六時間

大正七年七月修業生 (十八人) (成績順)

天野 源一 (静岡) 松本 篤太郎 (東京) 原 義一良 (東京) 宮城 富朗 (東京)

矢野 重弘 (北海道) 安藤 義照 (東京) 増田 達雄 (滋賀) 松平 勇 (愛知)

椿 群次 (熊本) 藤畑 五郎 (静岡) 神保 文一 (東京) 藤野 周太郎 (大阪)

日下 定次郎 (東京) 中山 武 (廣島) 萩谷 直 (茨城)

原西 季雄 (東京) 杉浦 征一 (愛知) 堀井 芳三郎 (京都)

第五臨時教員養成所卒業生

明治三十五年四月設置同三十九年三月廢止 英語科、修業年限二ケ年

明治三十七年三月第一回卒業生 (二十六人) (いろは順)

泉本 覺一郎 (奈良) 池田 朝長 (東京) 芳賀 重治郎 (宮城) 橋村 憲五郎 (高知)

- | | | | |
|------------|------------|------------|------------|
| 二瓶兵二 (福島) | 金井半三郎 (群馬) | ×八十與一 (兵庫) | 木下芳雄 (東京) |
| 越智國一 (愛媛) | 高橋良一 (岩手) | 山田孝太郎 (茨城) | 森 照 (大分) |
| 小川政之助 (香川) | 並河良孝 (島根) | 山本市太郎 (島根) | 關 恰 (鹿兒島) |
| 岡村邦雄 (三重) | 向高良夫 (宮崎) | 小林 光 (東京) | ×島木 康 (栃木) |
| 小野 森 (青森) | 梅谷興一 (埼玉) | 江副秀喜 (熊本) | |
| 川瀬登治 (山形) | ×國枝 昇 (熊本) | 坂部和三郎 (愛知) | |
| 佛士 温治 (高知) | 田子富彦 (鳥取) | 眞方友二 (宮崎) | 清水 勇 (愛媛) |
| 西村昂三 (島根) | 瀧崎 保 (長野) | 福元一二 (鹿兒島) | 平岩元吉 (愛知) |
| 堀尾柳市 (島根) | 名原廣三郎 (島根) | ×五島退藏 (徳島) | 須藤参治 (岩手) |
| 本郷良喜治 (宮城) | 仲本吉一郎 (沖繩) | 今元 鶴 (青森) | 鈴木龜壽 (東京) |
| 富永登三 (東京) | 夏原由三郎 (滋賀) | 赤井知洗 (奈良) | |
| 小田四郎 (宮崎) | 大下 盛 (香川) | 佐藤國彦 (福島) | |
| 加藤治躬 (静岡) | 山本甚輔 (山口) | 宮田峰一 (廣島) | |

明治三十九年三月第二回卒業生

(二十五人) (いろは順)

第十二臨時教員養成所 (大正十五年四月設置昭和六年三月廢止)

英語科修業年限三ヶ年

昭和四年三月第一回卒業生

(二十五名) (ABC順)

- | | | | |
|---------------|-------------|-------------|-------------|
| 伊達謙太郎 (東京) | 木暮義雄 (群馬) | 鮫島龍襄 (東京) | 富永憲章 (徳島) |
| 福井 恒 (北海道) | 前田 一 (三重) | 澤野七郎 (福島) | 内川健吾 (長野) |
| 後藤太丸 (大分) | 宮城敏男 (沖繩) | 鹽見太郎 (京都) | 山下巳代治 (神奈川) |
| 市川千秋 (長野) | 森 煉三 (愛知) | 白津 眞 (宮城) | 吉田幾美夫 (福岡) |
| 釜山哲夫 (岡山) | 森 良雄 (愛知) | 鈴木廣次 (静岡) | |
| 鴨志田義幸 (茨城) | 奈良眞一 (岩手) | 高橋理平 (福島) | |
| 小林康彦 (東京) | 大槻桃丸 (東京) | 田村市郎 (山梨) | |
| 昭和五年三月第二回卒業生 | | | |
| (二十七名) (ABC順) | | | |
| 淺井 勝 (三重) | 金子金一 (神奈川) | 三綱千代治 (神奈川) | 丹桂喜與美 (福島) |
| 吹野信夫 (東京) | 北村一郎 (岩手) | 中臺武夫 (千葉) | 寺本彌市 (東京) |
| 林 貫一 (長野) | 北村重治 (静岡) | 野田三彦 (福岡) | 山本秀男 (東京) |
| 飯尾太郎 (愛媛) | 小林梅次郎 (神奈川) | 太田三郎 (兵庫) | 山下 亮 (山梨) |
| 岩原武雄 (長崎) | 小池 透 (神奈川) | 佐久間武雄 (千葉) | 安原克巳 (廣島) |
| 神谷秋津 (愛知) | 前田健三 (宮崎) | 唯野 一 (福島) | 吉田忠一 (愛知) |
| 金井正夫 (群馬) | 松島 謙男 (鳥取) | 高山俊男 (千葉) | |

昭和六年三月第三回卒業生

(二十三名) (ABC順)

- | | | | |
|------------|------------|------------|------------|
| 秋山 一 (茨城) | 石井重男 (神奈川) | 永松春彦 (東京) | 志賀三重 (山梨) |
| 芦塚 瑛 (長崎) | 石川清光 (茨城) | 中根龜壽 (關島) | 財部長盛 (鹿兒島) |
| 後藤徳太郎 (千葉) | 石丸俊行 (大分) | 大日方直 (茨城) | 竹下正 (鹿兒島) |
| 平松 榮 (三重) | 金澤七十四 (岡山) | 青梅喜一 (神奈川) | 内田實 (静岡) |
| 飯田龜代治 (千葉) | 川原友繁 (徳島) | 恩地二郎 (福岡) | 若宮正吾 (東京) |
| 生島俊雄 (奈良) | 清田政則 (千葉) | 關武治 (新潟) | |

入學志願者入學者卒業修了者數年次表

英語部

(大正八年マデハ英語學科ト稱ス以下之ニ準ズ
本科各語部入學志願者中第二及第三志望者ノ數ハ大正十三年ヨリ掲ケタリ)

年次	本科		専科		年次
	入學志願者	入學者	入學志願者	入學者	
明治三十年	二八	二八			同
同三十一	九一	一七			同
同三十二	一一	二八			同
同三十三	二二	二八			同
同三十四	二二	三六			同
同三十五	一四	二九			同
同三十六	一八	二九			同
同三十七	一八	二九			同
同三十八	一一	二九			同
同三十九	一一	二九			同
同四十	二四	三〇			同
同四十一	二四	三〇			同
同四十二	二四	三〇			同
同四十三	二四	三〇			同
同四十四	二四	三〇			同
同四十五	二四	三〇			同
大正二年	二四	三〇			同
同三年	二四	三〇			同
同四年	二四	三〇			同
同五年	二四	三〇			同
同六年	二四	三〇			同
同七年	二四	三〇			同
同八年	二四	三〇			同
同九年	二四	三〇			同
同十年	二四	三〇			同
同十一年	二四	三〇			同
同十二年	二四	三〇			同
同十三年	二四	三〇			同
同十四年	二四	三〇			同
同十五年	二四	三〇			同
同十六年	二四	三〇			同
同十七年	二四	三〇			同
同十八年	二四	三〇			同
同十九年	二四	三〇			同
同二十年	二四	三〇			同
同二十一年	二四	三〇			同
同二十二年	二四	三〇			同
同二十三年	二四	三〇			同
同二十四年	二四	三〇			同
同二十五年	二四	三〇			同
同二十六年	二四	三〇			同
同二十七年	二四	三〇			同
同二十八年	二四	三〇			同
同二十九年	二四	三〇			同
同三十年	二四	三〇			同

入學志願者	入學者	卒業者	入學志願者	入學及速成者	修了者	年次
本			專修科	及速成科	修了者	
一五六	六五六	三六三	九	六	三	明治三十一年
一一三	六五五	六五三				同三十二年
一三三	五二九	五二九				同三十三年
二二六	二八四	二八四				同三十四年
三二五	二二一	二二一				同三十五年
三三五	二二一	二二一				同三十六年
三二四	二二一	二二一				同三十七年
三七四	二二一	二二一				同三十八年
四六四	二二九	二二九				同三十九年
三三〇	二七一	二七一				同四十年
三四四	二七一	二七一				同四十一年
三〇四	二七一	二七一				同四十二年
二四	二九	二九				同四十三年
二五	二九	二九				同四十四年
三三	二九	二九				同四十五年
二五	二九	二九				同四十六年
一四	二九	二九				同四十七年
一三	二九	二九				同四十八年
一〇四	二九	二九				同四十九年
一〇九	二九	二九				同五十年
八六	二九	二九				同五十一年
一〇五	二九	二九				同五十二年
一四八	二九	二九				同五十三年
二八一	二九	二九				同五十四年
	二九	二九				同五十五年

入學志願者	入學者	卒業者	入學志願者	入學及速成者	修了者	年次
本			專修科	及速成科	修了者	
七五	六四	五六	九	六	三	明治三十一年
二		三				同三十二年
三一	一七	二四				同三十三年
二六	一四	六				同三十四年
二二	二一	八				同三十五年
二二	二一	八				同三十六年
二二	二一	八				同三十七年
二二	二一	八				同三十八年
二二	二一	八				同三十九年
二二	二一	八				同四十年
二二	二一	八				同四十一年
二二	二一	八				同四十二年
二二	二一	八				同四十三年
二二	二一	八				同四十四年
二二	二一	八				同四十五年
二二	二一	八				同四十六年
二二	二一	八				同四十七年
二二	二一	八				同四十八年
二二	二一	八				同四十九年
二二	二一	八				同五十年
二二	二一	八				同五十一年
二二	二一	八				同五十二年
二二	二一	八				同五十三年
二二	二一	八				同五十四年
二二	二一	八				同五十五年

朝鮮語部

朝鮮語部		朝鮮語部	
入學志願者	本	拓殖科	二九八
入學者	二八六	拓殖科	一〇八
卒業者	二二八	拓殖科	八六
入學志願者	專修科	拓殖科	一〇八
入學者	及速成科	拓殖科	一〇六
卒業者	修了者	拓殖科	三一
年次	明治三十年	同	同
	三十一	同	同
	三十二	同	同
	三十三	同	同
	三十四	同	同
	三十五	同	同
	三十六	同	同
	三十七	同	同
	三十八	同	同
	三十九	同	同

ヒンドスタニー語部

ヒンドスタニー語部		ヒンドスタニー語部	
入學志願者	本	拓殖科	二二〇
入學者	二〇〇	拓殖科	一五一
卒業者	一五〇	拓殖科	一〇九
入學志願者	專修科	拓殖科	一〇九
入學者	及速成科	拓殖科	一〇九
卒業者	修了者	拓殖科	一〇九
年次	明治四十四年	同	同
	四十五年	同	同
	大正二年	同	同
	三年	同	同
	四年	同	同
	五年	同	同
	六年	同	同
	七年	同	同
	八年	同	同

二、本科卒業者、選科修了、修業者、専修科及速成科修了者數

計	了成者	了修者	修了、修業者	選科修了	卒業者	英語部		佛語部		獨語部		露語部		伊語部		西語部		葡語部		支那語部		蒙古語部		馬來語部	
						文法	實法	文法	實法	文法	實法	文法	實法	文法	實法	文法	實法	文法	實法	文法	實法	文法	實法	文法	實法
計	八	九	五	二	二八〇	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
計	三	三	一	一	一〇	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
計	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
計	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
計	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
計	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
計	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一

備考 表中中文ハ文科（文學）法ハ文科（法律）實ハ貿易科、拓ハ殖種科ノ略ナリ。

三、生徒現員 (昭和六年五月調)

本文科	部	年	學
一九二	英語部	四年	第一學年
一五三	英語部	三年	第二學年
二一八	英語部	二年	第三學年
四一四	英語部	一年	第四學年
一五三	佛語部	四年	第一學年
二一三	佛語部	三年	第二學年
二二六	佛語部	二年	第三學年
一四一	佛語部	一年	第四學年
二六九	獨語部	四年	第一學年
九六	獨語部	三年	第二學年
五九	獨語部	二年	第三學年
九二	獨語部	一年	第四學年
四六	露語部	四年	第一學年
八四	露語部	三年	第二學年
九七	露語部	二年	第三學年
五四	露語部	一年	第四學年
八二	伊語部	四年	第一學年
二九	伊語部	三年	第二學年
	伊語部	二年	第三學年
	伊語部	一年	第四學年
	西語部	四年	第一學年
	西語部	三年	第二學年
	西語部	二年	第三學年
	西語部	一年	第四學年
	葡語部	四年	第一學年
	葡語部	三年	第二學年
	葡語部	二年	第三學年
	葡語部	一年	第四學年
	支那語部	四年	第一學年
	支那語部	三年	第二學年
	支那語部	二年	第三學年
	支那語部	一年	第四學年
	蒙古語部	四年	第一學年
	蒙古語部	三年	第二學年
	蒙古語部	二年	第三學年
	馬來語部	四年	第一學年
	馬來語部	三年	第二學年
	馬來語部	二年	第三學年
	馬來語部	一年	第四學年
	ヒンディー語部	四年	第一學年
	ヒンディー語部	三年	第二學年
	ヒンディー語部	二年	第三學年
	ヒンディー語部	一年	第四學年
三二四	計		

合計	速成科	專修科	研究生	選科	拓殖科	科	
						貿易科	實法
三二八〇〇		四六二		四二		二二	三三
六二八三四三		二一〇		二二		二二	三三
五三三三三六		三五一		二一		二一	三三
八八二二二八		八二		三一		三一	三三
〇三三三三三	七			一		一	三三
四四二二六		六二〇		二		二	三三
一六二二九				一		一	三三
九四六五四		二二二		二		二	三三
九三二一八	五						三三
九一三二八							三三
一三二一四		三二七	〇	三		三	三三

一 東京外國語學校校友會規則

第一章 名稱及目的

第一條 本會ハ東京外國語學校校友會ト稱ス

第二條 本會ハ會員ノ交誼ヲ厚クシ心身ヲ鍛鍊シ且校風ヲ振作スルヲ以テ目的トス

第二章 會員

第三條 本會ハ左ノ會員ヲ以テ組織ス

一、正會員

一、特別會員

一、贊助會員

一、名譽會員

第四條 本校本科生及ヒ選科生及本校内臨時教員養成所生徒ハ正會員タルヘキモノトス

第五條 本校職員ヲ特別會員トス

第六條 本校卒業生及本校内臨時教員養成所卒業生ヲ贊助會員トス

第七條 本校ニ縁故アリ本會ノ目的ヲ賛成スル者ヲ會長ノ推薦ニヨリテ名譽會員トス

第三章 部門

第八條 本會ニ左ノ六部ヲ置ク

第一部 武術部

第二部 陸上運動部

第三部 水上運動部

第四部 文藝部

第五部 辯論部

第六部 語學大會

第四章 役員

第九條 本會ニ左ノ役員ヲ置ク

但必要ノ場合ハ臨時委員ヲ置ク事ヲ得

會長 一名

副會長 一名

部長 六名

副部長 六名

評議員 十五名以内

幹事 三十九名
(内、第一部四名、第二部七名、第三部九名、第四部六名、第五部五名、第六部八名)

委員 各級一名

主計 一名

録事 一名

- 第十條 會長ハ東京外國語學校校長之ニ當ル
- 第十一條 會長ハ本會一切ノ事務ヲ總理ス
- 第十二條 副會長ハ特別會員中ヨリ會長之ヲ囑託ス
- 第十三條 副會長ハ會長ヲ補佐シ會長事故アルトキハ之ニ代ル
- 第十四條 部長及副部長ハ委員會ニ於テ特別會員中ヨリ選舉シ會長之ヲ囑託ス
- 第十五條 部長ハ各部ノ事務ヲ掌理シ副部長ハ部長ヲ補佐シ部長事故アルトキハ之ニ代ル
- 第十六條 評議員ハ特別會員及贊助會員中ヨリ會長之ヲ囑託ス
- 第十七條 評議員ハ會長ノ諮問ニ應シ本會ノ重要ナル事項ヲ審議ス
- 第十八條 幹事ハ委員會ニ於テ正會員中ヨリ選舉シ會長之ヲ任命ス
- 第十九條 幹事ハ部長及副部長ヲ輔ケテ各部ノ事務ヲ處理ス
- 第二十條 委員ハ各級ヨリ一名ヲ五選シ本會一切ノ事項ヲ評決ス
- 第二十一條 主計ハ本校ノ會計課員中ヨリ會長之ヲ囑託シ本會一切ノ出納ヲ掌ル
- 第二十二條 録事ハ本校事務員中ヨリ會長之ヲ囑託シ本會ノ記録ヲ掌ル
- 第二十三條 本會役員ノ任期ハ滿一ケ年トス

但毎年四月ヲ以テ任期ノ始トス

第二十四條 各役員會ハ役員ノ半數以上ノ出席者アルニアラサレハ成立セサルモノトス

第五章 役員會

第二十五條 役員會ヲ分チテ評議員會、部長會、幹事會及委員會トス

第二十六條 各役員會ノ細則ハ別ニ之ヲ定ム

第六章 會計

第二十七條 本會々計年度ハ毎年四月一日ニ始マリ翌年三月三十一日ニ終ルモノトス

第二十八條 次年度ノ豫算ハ毎年二月各部幹事之ヲ編成シ部長會ノ査定ヲ經テ委員會ノ議ニ附シ會長ノ認

可ヲ經テ決定ス

第二十九條 正會員ハ入會金貳圓及會費年額金拾圓ヲ納ムヘシ

但入會金ハ入學ノ際ニ之ヲ納メ内金壹圓ヲ基本金トス會費ハ三回ニ分チ第一學期金五圓第二學期金

參圓第三學期金貳圓ヲ授業料ト同時ニ納ムヘシ

第三十條 特別會員ハ毎月俸給月額百五十分ノ一(外國人ハ二百分ノ一)ヲ寄附ス

第三十一條 名譽會員及贊助會員ハ會費ヲ納ムル事ヲ要セス

第三十二條 本會ノ決算ハ六月末日迄ニ委員會ニ報告シ其承認ヲ受クヘシ

第七章 基本金

第三十三條 本會ハ其基礎ヲ鞏固ニシ事業ノ發達ヲ圖ランガ爲ニ基本金ヲ蓄積ス

第三十四條 本會基本金ハ特定收入ヲ以テ之ニ充ツ

第三十五條 基本金ハ之ヲ通常經費ニ流用スルヲ得ス

但利子ハ當分ノ内基本金ニ繰入ル、モノトス

第三十六條 有志者ヨリノ寄附ハ會長ノ承認ヲ經テ受納シ之ヲ基本金中ニ繰入ル

第八章 東京外國語學校購買組合

第三十七條 本會ニ東京外國語學校購買組合ヲ附設ス

第三十八條 東京外國語學校購買組合ノ規約ハ別ニ之ヲ定ム

第九章 規則改正

第三十九條 本會規則ハ委員會ノ決議ニヨリ會長ノ認可ヲ經テ改正スル事ヲ得

(附則) 本規則ハ大正七年九月十一日ヨリ全部施行ス

(大正十三年三月大正十五年四月昭和五年三月改正)

二 東京外國語學校同窓會規則

名稱

第一條 本會ハ東京外國語學校同窓會ト稱ス

目的

第二條 本會ハ堅實ナル學風ノ樹立ト同窓トノ親睦ヲ厚フスルヲ以テ目的トス

會員

第三條 本會々員ハ分テテ正會員名譽會員ノ二種トス

第四條 東京外國語學校本科出身者ハ入會ノ手續ニ依ラスシテ正會員タルモノトス

但其他ノ出身者及管テ本校ニ在學セシモノハ希望ニヨリ正會員タルコトヲ得

第五條 東京外國語學校在職ノ教職員及關係者ヲ名譽會員トス

役員

第六條 本會ニ幹事及委員ヲ置ク

第七條 委員ハ總會ニ於テ各語學科毎ニ五名以內ヲ選出ス

第八條 幹事ハ十二名トシ委員ノ互選ニヨリ之ヲ定ム

第九條 幹事委員ノ任期ハ各二ケ年トス

第十條 幹事ハ會務一切ヲ處理ス

第十一條 委員ハ幹事ヲ補佐シ會務ニ當ル

會計

第十二條 正會員ハ毎年會費トシテ金壹圓ヲ納付スルモノトス

但一時金拾五圓也ヲ納付シタル者ハ爾後ノ會費ヲ要セス

第十三條 資金ハ本會直接ノ業務ニ要スルモノ、外一切支出スルコトヲ得ス

第十四條 資金支出殘額ハ年々決算ノ上基本金ニ編入ス

第十五條 會計年度ハ毎年九月一日ヨリ翌年八月末日迄トス

第十六條 本會々計報告ハ總會ニ於テ之レヲ行フ

第十七條 本會ノ基礎ヲ確實ナラシムル爲メ基本金制度ヲ設ク

第十八條 基本金ハ銀行ニ預入レ幹事之レヲ保管ス

會合

第十九條 本會總會ハ毎年十月之レヲ開ク

但役員會ニ於テ必要ト認ムルトキハ臨時總會ヲ開クコトヲ得

第二十條 幹事ハ毎月一回會合シテ事務ヲ處理ス

第二十一條 委員ハ隔月一回會合シテ會務ヲ議決ス

但必要ニ應シ臨時之ヲ開クコトヲ得

會務

第二十二條 本會ハ會報及會員名簿ヲ毎年一回會員ニ配布ス

第二十三條 本會々員ニシテ異動シタルトキハ直チニ本部宛ニテ通知スル義務アルモノトス

規則變更

第二十四條 本會々則ノ變更ハ總會ノ際出席者三分ノ二以上ノ同意ヲ要ス

支部

第二十五條 各地ニ支部ヲ置ク

但支部規則ハ各地ニテ本則ニ準シ適宜之レヲ定ム

附則

第二十六條 本會ノ目的ヲ達センカ爲メ隨時諸種ノ機關ヲ設クルコトヲ得

附 記

本會事務所ハ東京外國語學校内ニ置ク

基本金制度

- 一、本會規則第十七條ニ依リ基本金制度ヲ設ク
- 二、基本金ハ本會々員及其ノ他有志者ヨリ募集ス
- 三、基本金ノ寄附ハ一口金五圓也トス
- 但一人二口以上申込ムコトヲ得
- 四、基本金ノ寄附ハ一時拂込ミトス
- 但二ヶ年四回ニ分チ拂込ムモ妨ク無シ

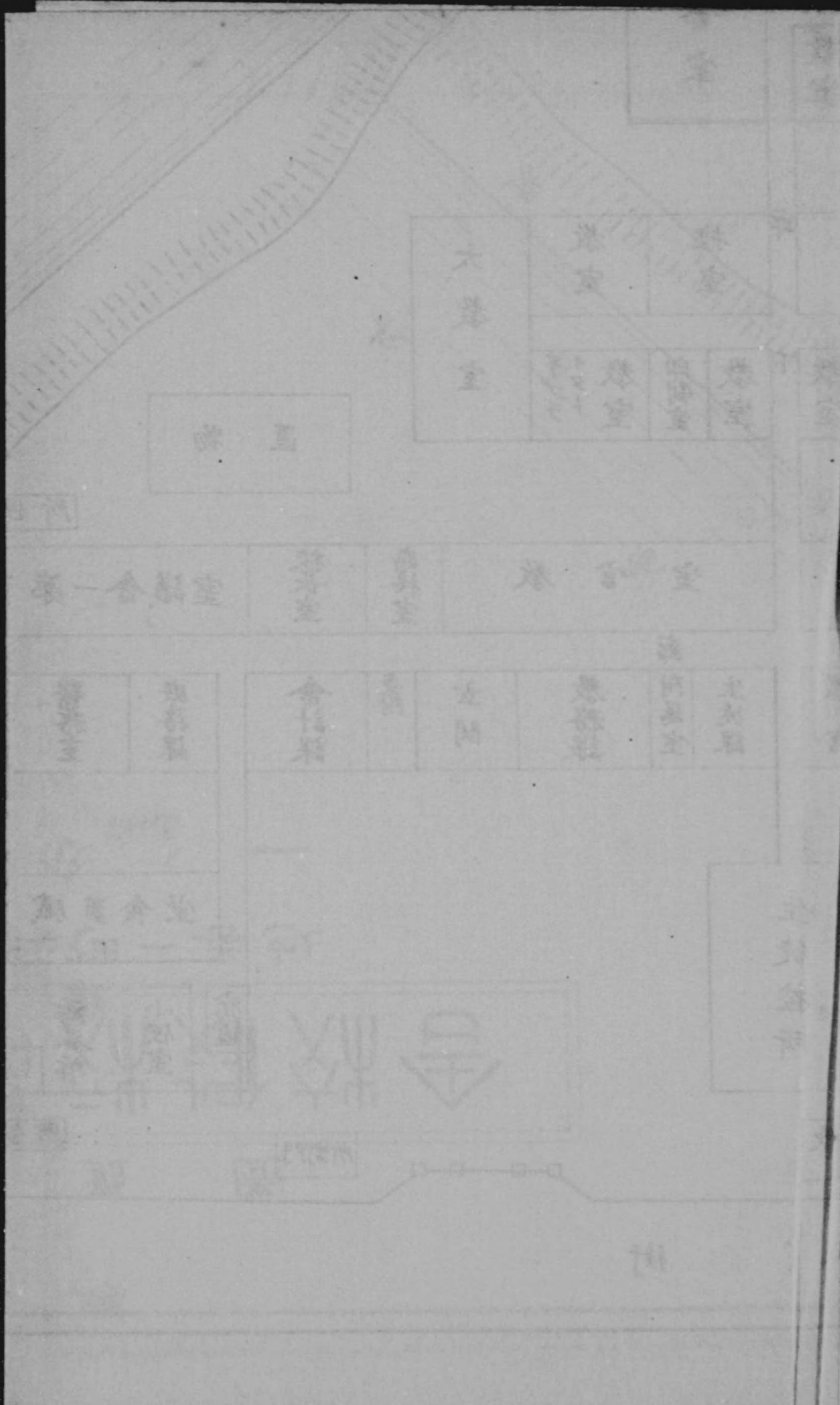
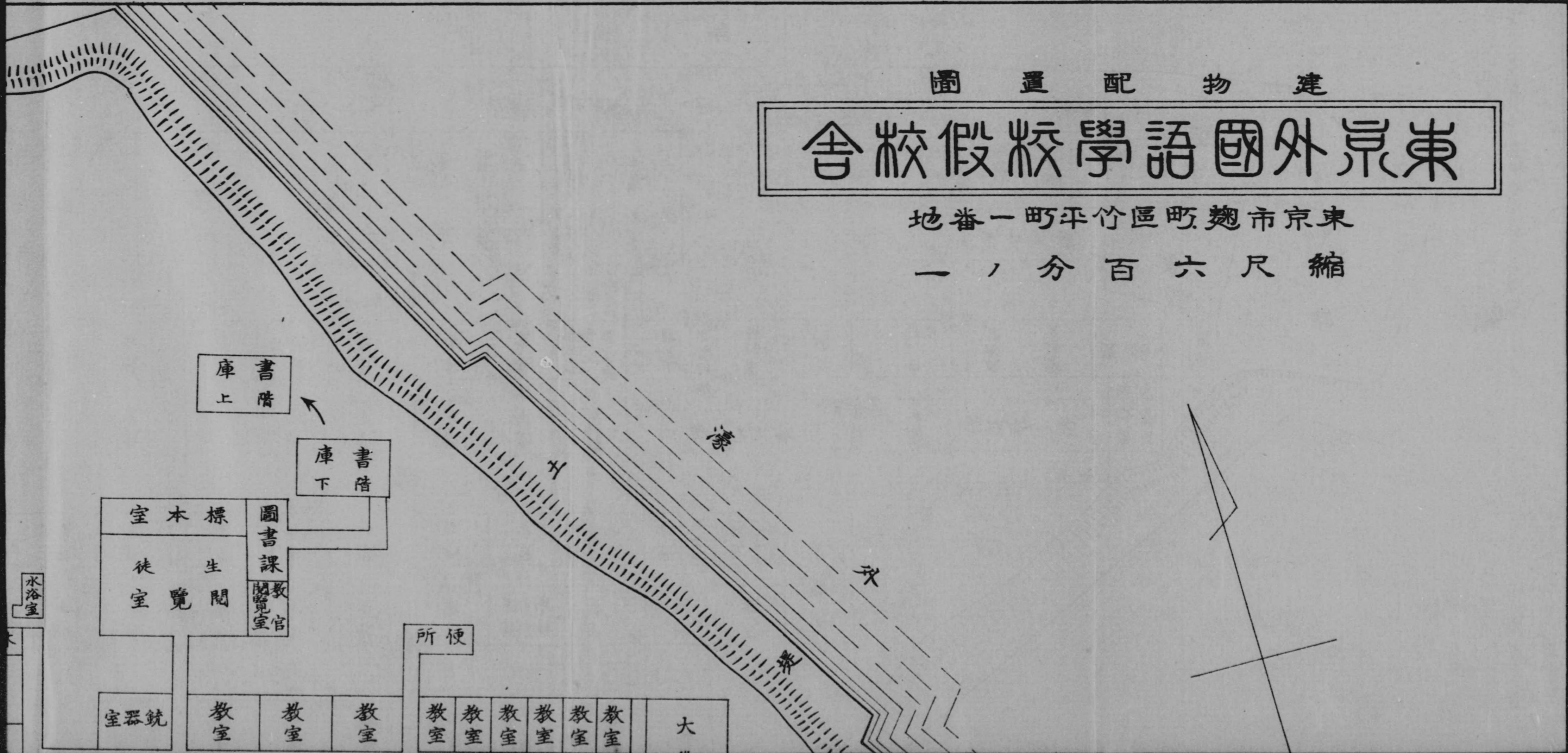


圖 置 配 物 建

舍 校 假 校 學 語 國 外 京 東

地 番 一 町 平 竹 區 町 麴 市 京 東

一 / 分 百 六 尺 縮

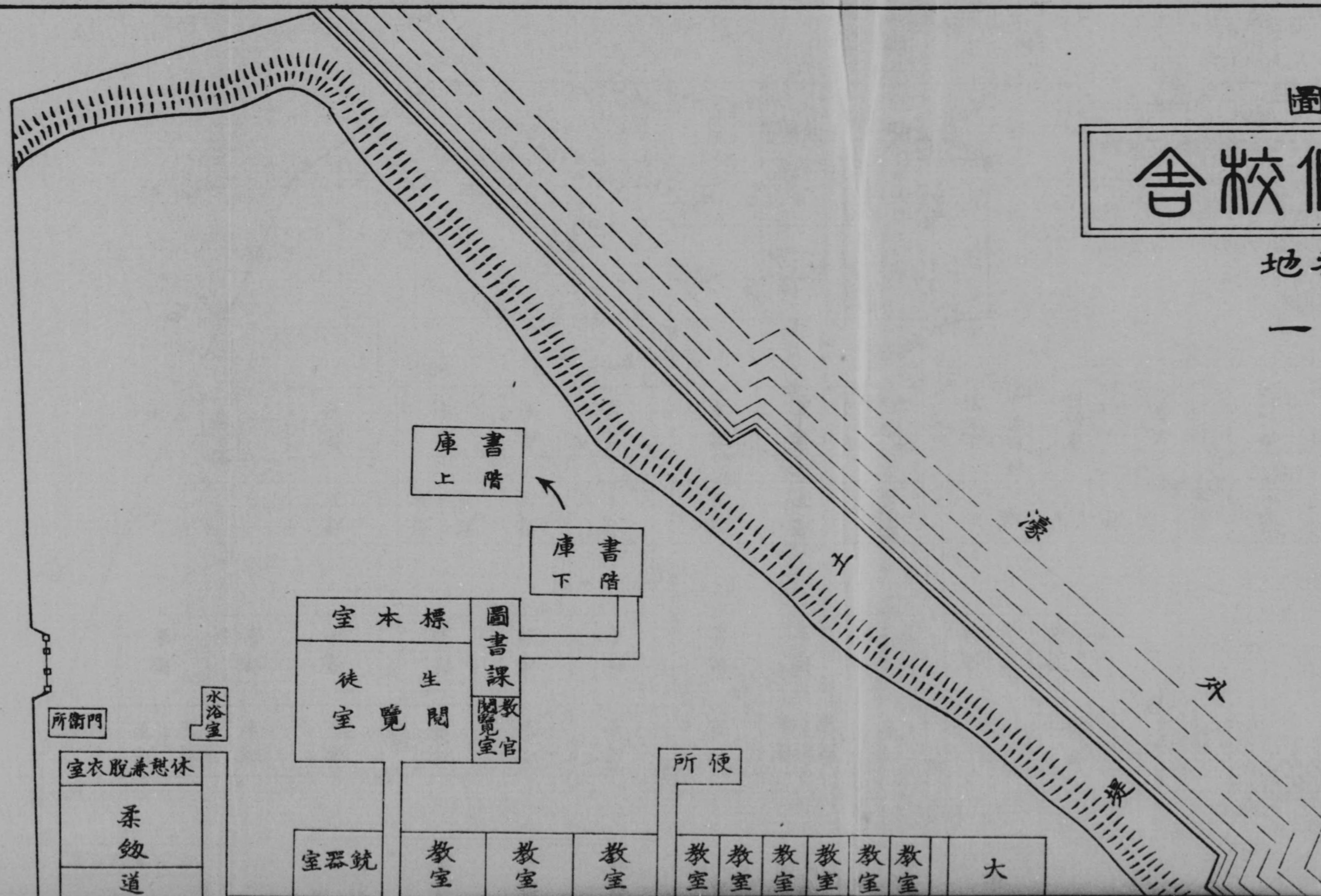


西置園

學校假校舎

竹平町一番地

百分之一



圖書階上

圖書階下

標本室

圖書課

生徒室

教員室

門衛所

浴室

休息兼脫衣室

柔道

銃器室

教室

教室

教室

所用所

教室

教室

教室

教室

教室

教室

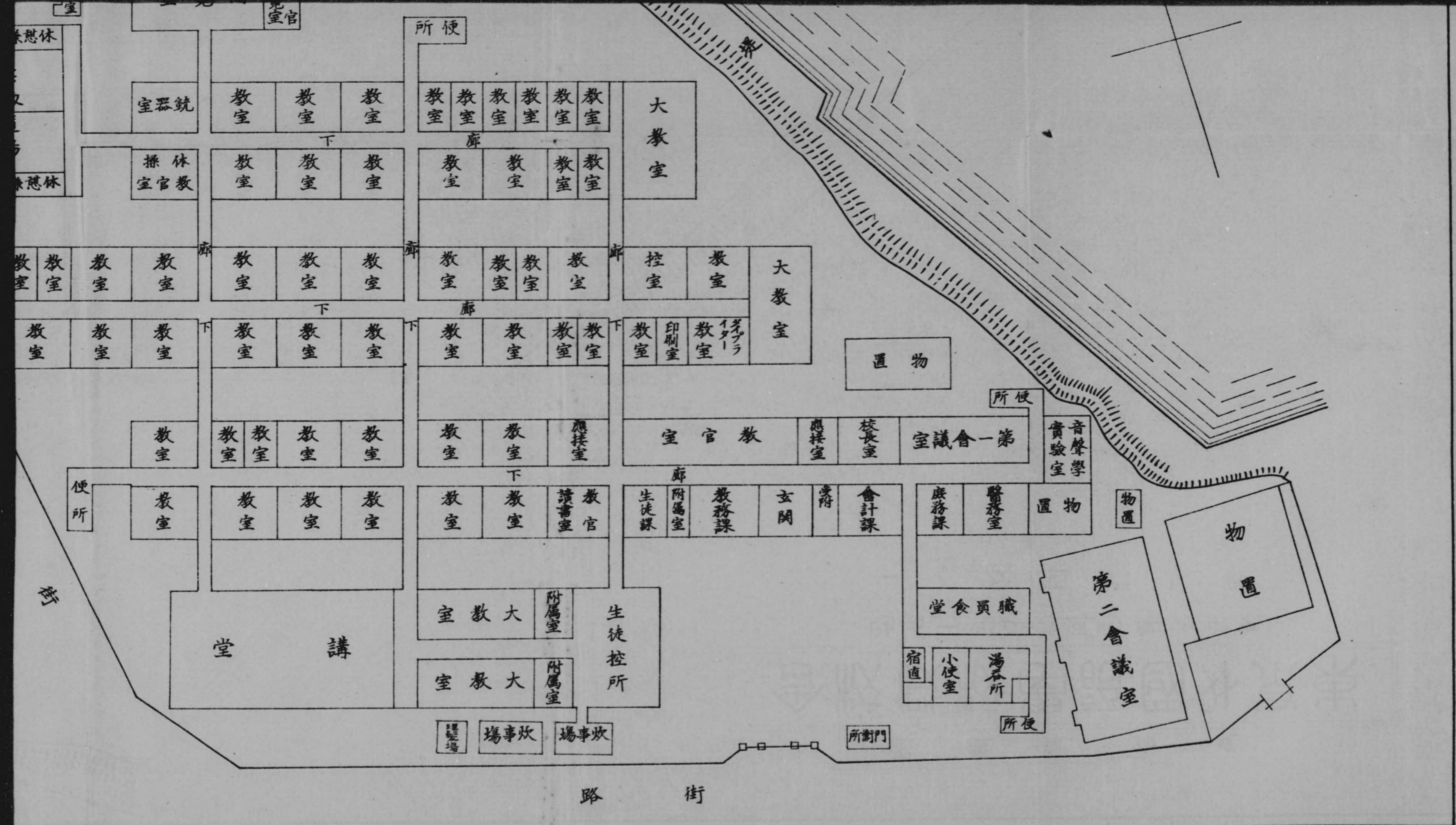
大

溝

溝

溝

溝



路街

新

所便

大教室

大教室

置物

所便

音聲學實驗室

所便

物置

物置

第二會議室

所便

門衛所

庭場

炊事場

庭場

生徒控所

附屬室

大教室

附屬室

大教室

講堂

教室

教室 教室 教室

教室 教室 讀書室 教員

生徒課 附屬室 教務課 玄關 庶務 會計課

庶務課 醫務室 物置

職員食堂

宿直 小使室 湯浴所

教員室

應接室

校長室

第一會議室

教室 教室 應接室

教室 教室 教室 教室

廊

下

下

下

下

廊

下

下

下

下

廊

下

下

下

下

廊

下

教員室 體育室

教室 教室 教室

教室 教室 教室 教室

銃器室

教室 教室 教室

教室 教室 教室 教室 教室 教室

休息室

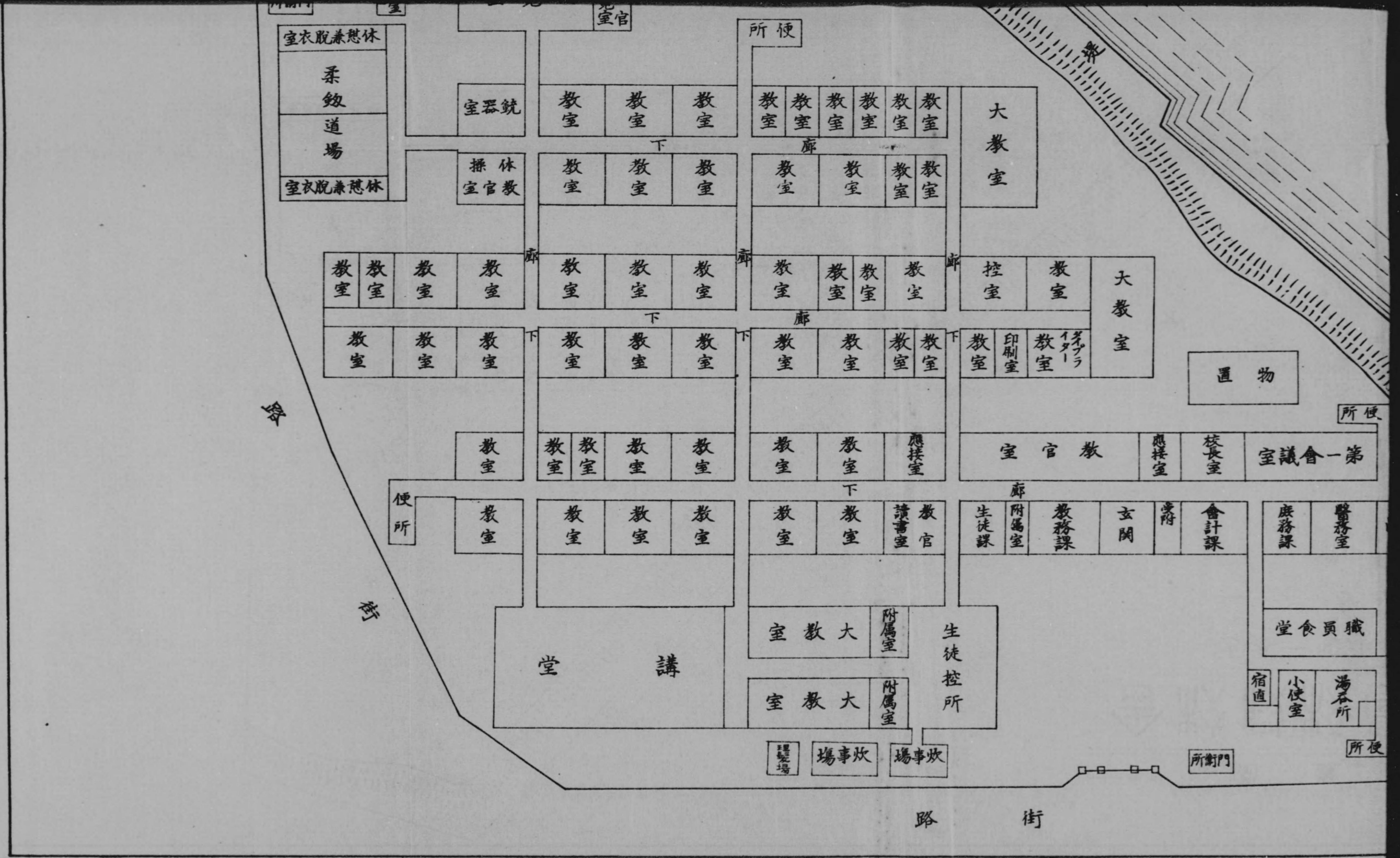
休息室

教室 教室 教室 教室

教室 教室 教室

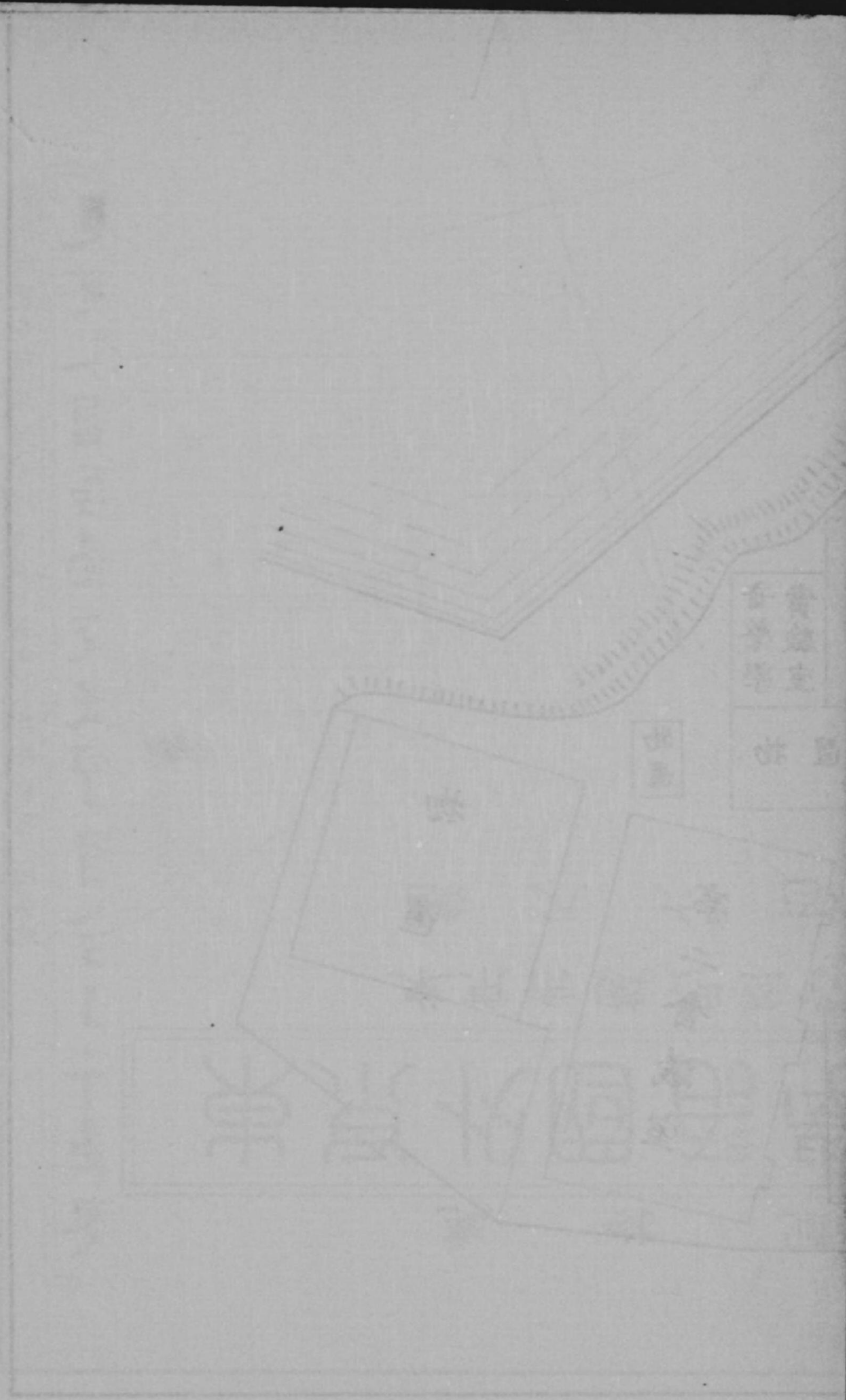
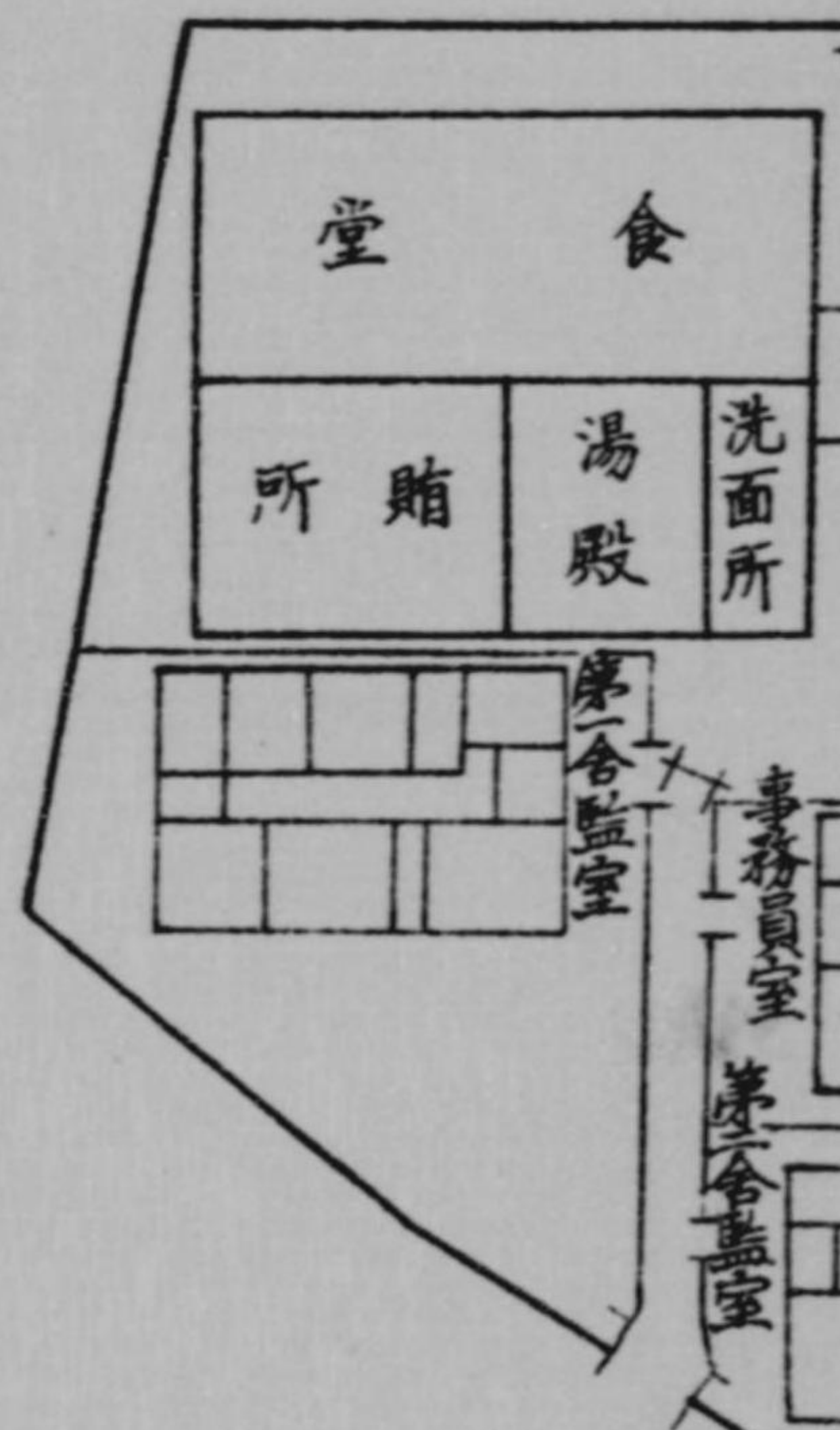
便所

街



東京府豊多摩郡野方町大字上高田字新井前百十四番地

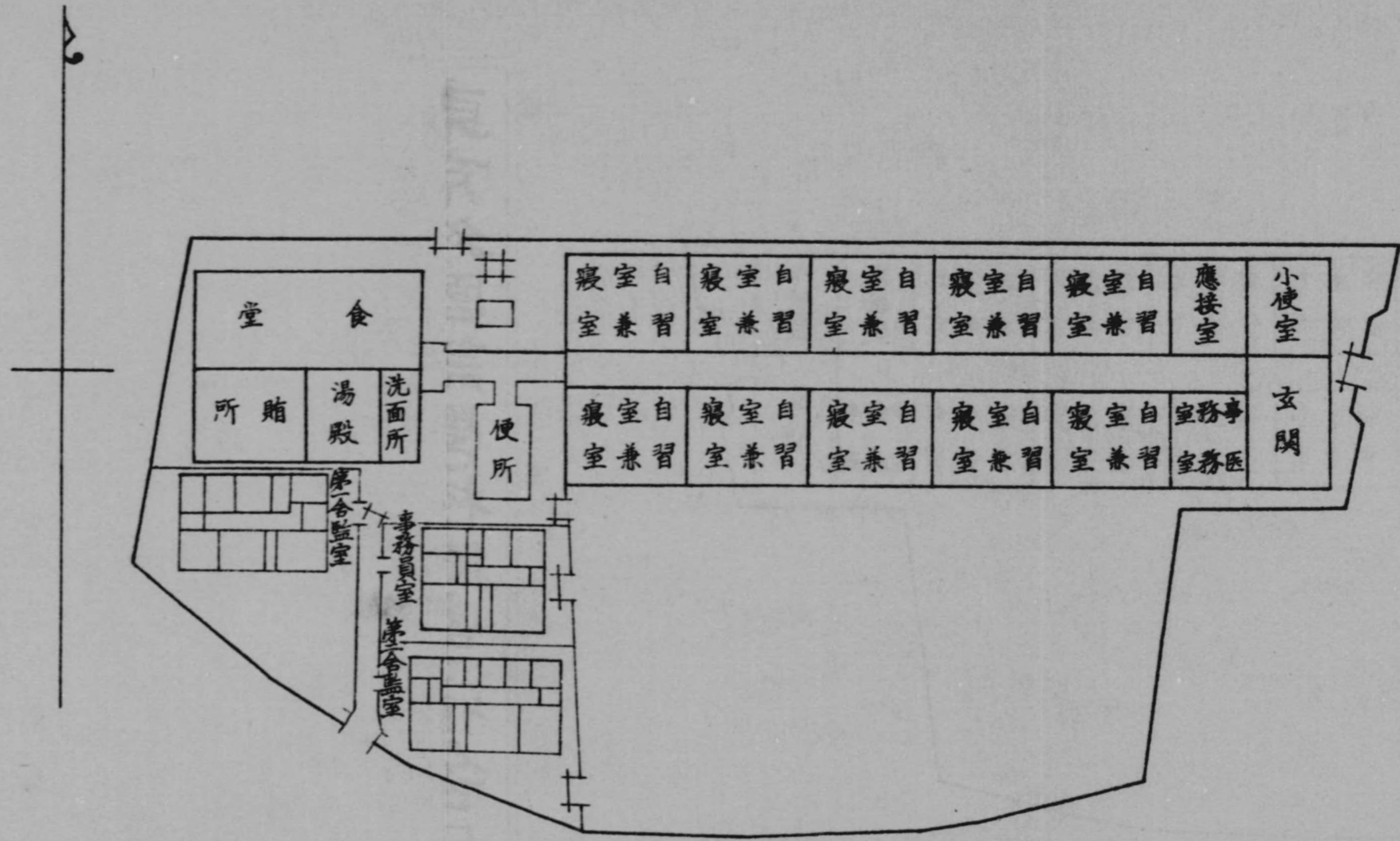
東京府立第一女子高等学校



東京府豊多摩郡野方町大字上高田字新井前百十四番地

東京外國語學校假寄宿舍日新學寮

縮尺六百分一



東京外國語學校附設日語學寮



昭和六年十二月十六日印刷
昭和六年十二月二十日發行

東京市麴町區竹平町一番地

東京外國語學校

電話九ノ内(23)
三三一
三二七六
番番番番

東京市神田區錦町三丁目二五番地

印刷者 前田宗松

東京市神田區錦町三丁目二五番地

印刷所 文成社印刷所

電話神田三四五番

東京市立三田図書館

明陽館 文芸部 明陽館

東京市立三田図書館第三丁目二五番地

明陽館 前田 宗 外

東京市立三田図書館第三丁目二五番地

東京市立三田図書館
第三丁目二五番地
六十二三

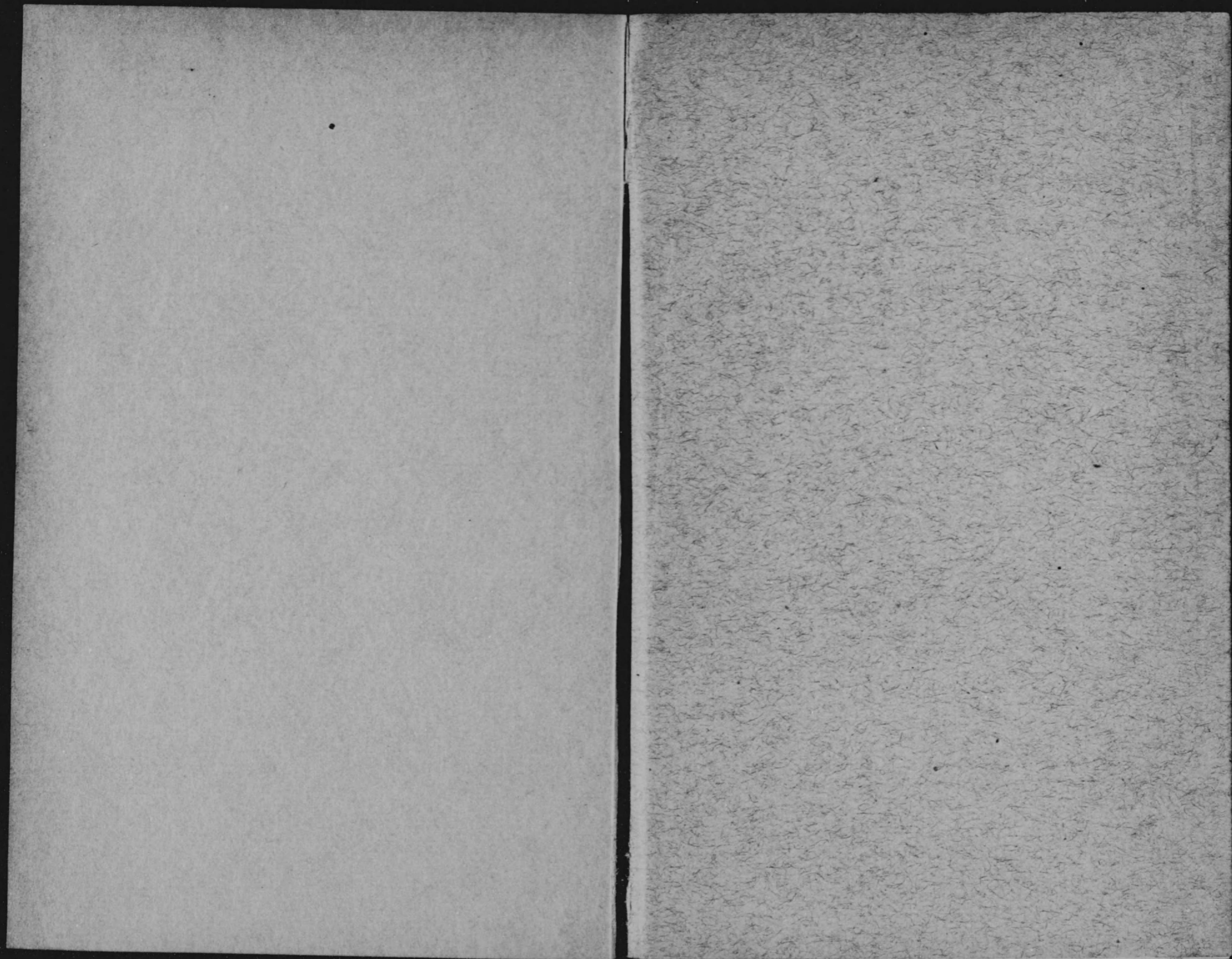
東京市立三田図書館
第三丁目二五番地
六十二三

東京市立三田図書館
第三丁目二五番地
六十二三

昭和六年十二月二十日發行

昭和六年十二月十六日印刷





293
5
1

